

第1回温暖化・省エネ分科会セミナー
地球温暖化対策の中期目標についての解説

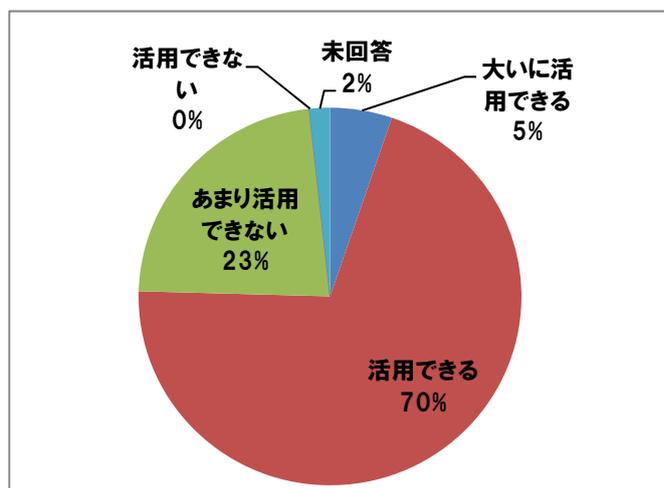
【講演Ⅰ】「日本の地球温暖化対策の中期目標について」
経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 課長補佐 清水 淳太郎 様

【講演Ⅱ】「温暖化対策についての考え方」
電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員 今中 健雄 様

アンケート調査結果

1. 出席者：89名
2. 回答者：57名
3. 回答率：64%

質問1.本セミナー全体を通して、今後の環境経営に活用できると思われませんか。



「大いに活用できる」、「活用できる」への回答は、75%（57人中43人回答）。
一方、「あまり活用できない」への回答は、23%（57人中13人回答）。

【ご意見】

● 大いに活用できる

今中先生のお話、清水先生のお話、とても参考になりました。政権が変わった今、目先の動きに右往左往しておりましたが、長期的な視点が大切であることを改めて考えさせられました。
お二人の先生方がそれぞれの立場から貴重なお話を戴き、大変ありがとうございました。
省エネのバリアという考え方は、自社や家族で省エネを考えるときの参考になります。

● 活用できる

25%削減の根拠等、判断基準が理解できた。
削減コストの考え方を社内の低減アイテムにおととして考えていきたい。
良きにしろ、悪きにしろ、情報収集のセミナーとしては大いに参考とになる。
数値目標の不確実性と、長期目標の必要性を改めて認識できた。
全体として温暖化対策は理解しましたが、会社として如何施策を講じなければならないか、ヒントが欲しかったです。

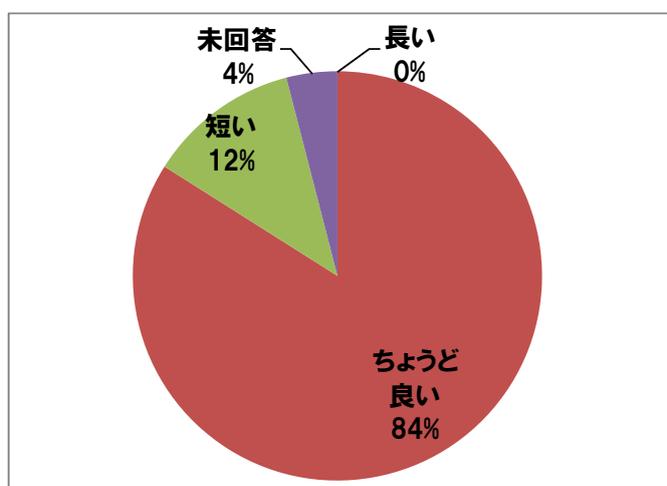
活用しなければならないと考えているが、効果は不明。セミナーの内容を伝えても、正確に理解してもらえないかわからない。
政策については、まだ具体的に出ていないが、なかなか本当に知りたいことが聞けなかったが、今の状況がよく分析されていたのでわかりやすく、これからの社内の活動方針計画等にも活用させていただきます。
現状の真の動向を知ることができ、参考になる。
基本的な考え方であり、これを如何に企業で活用するか検討してみたい。
政権交代後の役所の考え方を知ることができ、有意義であった。
非常に有意義な講演会であったと思う。
清水氏のQ&Aは本音が言えず、止むを得ない面もあり、あまり参考にならなかった。今中氏の講演は考え方、まとめ等ははっきりしており、参考になった。
2つの講演が別々の視点でないようになっており、興味深かった。
海外を含めた活動をすべきと思った。
温暖化対策での参考になりました。
国内拠点の生産方法を抜本的見直さないと目標達成は難しい。

● **あまり活用できない**

まだCOP15を前に、政府が目標等を検討中であるため、今回のセミナーではタイミングよくなかったのでは？（COP15開催以降ならOK）。
中期目標はもう少し突っ込んだ説明を期待していました。この時期ではタイミングが悪いのかも。政権交代直後の工程表も不明な段階。
もう少し詳細に突っ込んだ説明が欲しかった。
まだ現時点では具体化されていないため。
具体性に少ないところが。
温暖化ガス25%削減の目標に対して、民間企業、家庭、公営事業他、具体的にどのくらい大変難しいことなのか早く提示して欲しい。
情報としては活用できるが、企業としては取組方向性を学びたかった。

質問2.各講演時間について如何でしたか。

【講演I】「日本の地球温暖化対策の中期目標について」



「ちょうど良い」が84%、
「短い」が12%。

● ちょうど良い

今後の方向、流れなど、役に立つと思います。
具体的な数字が出ており、わかりやすかった。
質疑時間を多く取っていることはよい。(4名)
もう少し具体的な内容があればわかりやすかった。
対策目標の考え方は、参考になりました。
時期的に早かったためか、具体性に欠けた。(以前からの情報と同一程度であった。)

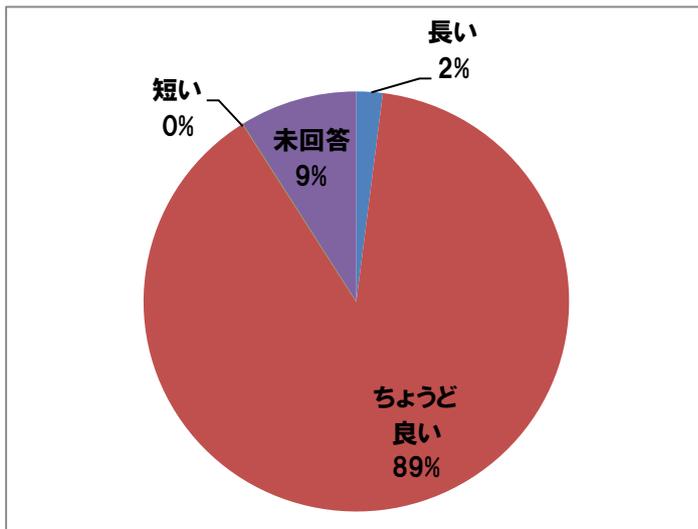
● 短い

話が早くなると理解するうえで、ついていけない場合がある。
もう少しじっくり聞きたかった。

● 未回答

現時点でいろいろな意味で難しさがあり、展開への一理解としての意味があると思う。

【講演Ⅱ】「温暖化対策についての考え方」



「ちょうど良い」が89%、
「長い」が2%、「短い」が0%。

● ちょうど良い

省エネ法の動向に注目してきたが、現時点でまだ決まっていないことを確認できただけでも効果があった。
大変よく理解ができた。

● 未回答

短期目標の位置づけと、技術開発への理解について、新たな知見が得られた。

以上